



2020年も憲法九条などの改憲を許さないため できることを考えやってみましょう！

2015年1月24日にこの会「九条の会・いすみ市」が創立され5年経ちました。会員は120名を超えました。

会では憲法の学習をしながら様々な行事を行い、それを会報で知らせてきました。

この2年間は、安倍改憲NO！の署名活動に力を注いできました。会員の知りあい、大原駅前、戸別訪問によるその署名数は1280筆となりました。

これらの活動は、全国7000を超える九条の会でも行われ、さまざまな方々と市民アクションとして1000万人を超える署名を国会に届けています。

その力が参議院選挙で改憲発議に必要な三分の二の議席を安倍与党に与えませんでした。世論調査での改憲反対意見を増加させてきました。声をあげて広げてきたことが力になっていると思います。

安倍内閣での違憲の集団的自衛権を認める閣議決定、違憲の戦争法制（安保法制）の強行、その実施としての自衛隊の海外への派遣、米軍との共同歩調を強化し、いま紛争の中心地の中東に「調査・研究」目的にP3C哨戒機2機と護衛艦「たかなみ」を派遣するところまできました。その中東では外国の基地がありそこから攻撃されるとその基地は反撃を受けるとということが当然行われたのでした。アメリカと一体化しての辺野古基地の新設、全国の基地強化、空母の強化など際限の無い軍事力の強化は反撃の目標とされ、危険を増すことがいっそう明らかになっています。

新しい署名（安倍9条改憲NO！改憲発議に反対する全国緊急署名）の呼びかけが行われました。別紙でお配りしますので署名活動を始めましょう。

学習会では未来を考えながら憲法を中心に議論していきましょう。

憲法を語り楽しむ行事も予定しています。さらに新しい会員を迎えていきましょう。

核兵器廃絶国際署名は342筆となりました。8月まで署名は続けます。

近藤

『署名活動を継続して』

この日、期末試験だと伺い、高校生の下校時2時間ほど、署名と宣伝活動をしました。

署名数 49筆 ヤッター！

特急が止まるいすみ市最大、大原駅頭、それでも通行人はチラホラ、「憲法9条を守ろう」のポスター、のぼりを立て、ボリュームをおさえたハンドマイクの音、ほんの5、6名が立っているだけでも、とても目立ちます。「ちょっと勇気を出せよ」と自分にいい聞かせて、「ビラを読んでください。」「憲法を守る署名お願いします。」から始めます。

高校生はたいてい複数でやって来ます。関心のありそうな雰囲気のかたにボールペンを差し出します。ほとんど立ち止まってくれ話しを聞いてくれます。大混雑の都会、ビラを受け取ってさぐくれないところとは大違い。とても反応が良く達成感があります。

私たちはひと月に一度は街頭や地域での署名活動、宣伝行動をします。

年頭の党首討論で、安倍首相は「改憲は私自身の手で」と言って「桜を見る会」やカジノ疑惑での説明責任には応えず、改憲を強調しました。

北朝鮮はミサイル撃ち放題、アメリカとイランでは、司令官を空爆殺害、その反撃で米軍施設砲撃、いまにも戦争勃発というときに、国会承認もなく中東に向け自衛隊が出発しました。

「日本は戦争をしないと全世界に誓った国なのに」

一人でも多くの会員さんが署名活動へご参加くださることをお願いいたします。

(裏の伝言板をご覧ください。)

和久 伸一

お花見会のご案内

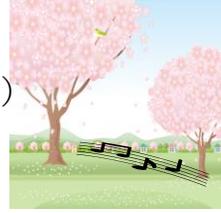


学習会

2月22日(土)
3月28日(土)
4月25日(土)
5月30日(土)

大原文化センター
AM10時から12時
(資料代 200円)

〔未来と憲法〕
未来への大分岐
憲法を議論しましょう
〔国連のとりのくみ〕
いま描く地球の未来
SDGs (エスディー
ーズ)



場所： 大原農村環境改善センター
(大原社会福祉協議会のある場所です)
雨天の場合は室内で行います

日時： 4月4日(土) AM10:45
PM1:00頃 解散

参加費 1000円

(お弁当・ジュース・ビール等飲み物の用意あります)

*楽器の出来る方はぜひご協力ください
昨年はおカリナ、ハモニカ演奏がありました
今年はどんな楽器が奏でられるのでしょうか?

お知らせ

新年度 年会費500円の納入をお願い致します
役員 代表者近藤 会計雪江 は再選されました
新しい署名呼びかけ文と署名用紙お渡しします

伝言板



署名活動へ参加しよう!

安倍9条改憲NO!

改憲発議に反対する

全国緊急署名活動・予定日

(学習会の日に次回を確認します)

2月 8日(土)
3月15日(日)
4月18日(土)
5月 3日(日)
憲法記念日

集合場所
おらげ 千葉銀前
AM10時集合
参加できる方は
ご連絡ください

ほっと
タイム



昨年末、中村哲さんの訃報は多くの人の心に悲しみをもたらしました。アフガニスタンを襲った大干ばつ、水を求めて争う住民。累累たる屍...途方に暮れる難民たちを前に白衣を脱ぐことを決意した中村哲医師。クナール川の水を用水路に、自ら設計し現場で重機を動かしてアフガン人と共に汗を流した。武器をツルハシに持ちかえた元傭兵たち、故郷を離れていた民衆が続々と帰ってきた。かつて不毛の土地を蘇えらせ10万人に恵みを与えた。「我々は次の世代に何を残せるのか。世界の片隅であってもこのような現実が目前で見られたことに感謝する」中村医師の遺された言葉です。とうとう自衛隊中東派兵が強行された今、九条を輝かせることがいかに重要か待たなしの状況に中村哲さんの生きざまは大切なことを教えてくれています。

「武器ではなく命の水を」

編集後記 / Rumi . Kawashima

参加者に感想をお寄せいただきました

大変重たいテーマとストーリーで観ていて苦しかったです。何よりもムッチャン、子役の演技に泣かされました。

戦争をあらためて考えました。きなくさい今日今頃、大人としてしっかり考えて行動しないとダメなと思いました。

戦争をおこさない為に考えていたいと思います。ムッチャンはたくさんいたことを心に置き考えたいと思う。

35年前に近くだったせいもあり、自分の子ども、私もエキストラに参加させて頂きました。又、改めて見させて頂き素晴らしい映画だと思いました。

何とも可哀想で悲しい映画でした。何ともない普通の生活が壊されてしまう戦争、2度とくり返すことのないことを願います。戦争はおろかすぎると思います。

とてもよく出来た映画ですが、特攻隊の青年については勇ましく美化したようで気になりました。戦争の実相がよく表現されていたと思う。

